



# 6月の安心かわら版

## 6月の主な行事

7日 : 母親大会記念	17日 : 父の日
11日 : 雨漏り点検の日	19日 : ベースボール記念日
15日 : 暑中見舞いの日	20日 : 健康住宅の日



## がん医療が激変

2018年4月から医療の値段が変わり、がん医療が激変しました。「セブ医療」扱いされてきた高額な治療が、健康保険適用によって“大衆化”されたのです。

### ロボット手術の保険適用の拡大

2018年4月からロボット＝ダヴィンチを使った手術について、7つのがんを含む、12種類の手術が一挙に保険適用になりました。

ロボット手術は、主に開腹手術ではなく、腹腔鏡や胸腔鏡手術に使われます。お腹を切り開かず小さな穴を幾つか開けて、そこから内視鏡や鉗子を入れて内視鏡の映像を見ながら体内だけで切ったり縫ったり、手術します。回復手術と比べると術後の社会復帰は非常に速いです。

### 保険適用になるとどうなる？

自由診療や先進医療と違って、費用はかなり抑えられます。

2012年に保険適用となった前立腺がんのロボット手術は、およそ160万円。これが保険適用となると、3割負担になるので48万円で済みます。しかも、保険適用なら高額医療制度が使えるので年収などによって差はありますが、概ね10万円を超えた部分は戻ってきます。

### 今回の見直しの問題点 高いロボットの価格と維持費

今回の診療報酬の改定では、食道がんや胃がんのロボット手術は保険適用となると同時に値段も決められました。その値段がなんと、これまでも行われていたロボットを使わない腹腔鏡手術などと同じ値段になってしまったのです。

ロボット＝ダヴィンチの本体価格は最新のものは3億5千万円、維持費も年間3千万円。さらに使い捨てるアームなど消耗品代が1回の手術当たりおよそ40万円かかります。それなのにロボットを使わない手術と同じ料金しかもらえないとなると、ロボットで増えるコストは病院の持ち出しになってしまうのです。こうなるとダヴィンチを維持できず、導入を見合わせる医療機関もでてくるはず。保険適用によって料金的にはロボット手術が受けやすくなるのに、実際にはダヴィンチが広がらない可能性もあります。

ロボット手術以外でも放射線治療の一種「粒子線治療」で前立腺がんの保険適用が認められます。2014年に発売された免疫治療薬「オプジーボ」は適用対象が広がり、価格がどんどん下がっています。保険適用の治療選択肢が増える中で重要になるのが、患者側が治療の正確な情報を得て、治療や医療機関に選択眼を持つことです。



ご加入中の保険のご確認、

ご質問 etc...

お気軽にご相談ください。

### 私たちが担当します!



中山 山田 青葉

レジアスインパクト(株)秩父支店  
chichibu@rezeous.co.jp

〒369-1872 埼玉県秩父市上影森815  
TEL 0494-27-3210 FAX 0494-26-6555

青葉 : aoba@rezeous.co.jp  
中山 : nakayama@rezeous.co.jp

